



今年の教区の目標

ゆいまーるの心で あらゆる絆を深めよう!

〒902-0067 那覇市安里3-7-2 カトリック那覇教区本部 TEL.098-863-2020 FAX.098-863-8474 発行人 W.F.バーント司教 1部40円 http://www.naha.catholic.jp/

(1) 2021年6月1日(毎月1日発行)

カトリック那覇教区報 MINAMI NO KŌMYŌ

第751号 (6月号)

べての兄弟姉妹の皆さん、

2021年 6月23日

ねば。

本語訳)

る戦術的な行動ではなく、 スト信者にとって非暴力は単

非暴力の平和の道を歩みつづけ

あり方だということが分かり

ましょう!

慰霊の日に寄せて -ジ 司教メッセ-

いくさ うら 恨みらん 怨みゆ

大城カメさんの琉歌

心の思いを琉歌に詠みました。 ならない大城カメさんは、 い子を、ひとりで育てなければ た三人(一歳・二歳・六歳)の幼 |周辺の激戦地で失い、生き残っ 沖縄戦によってご主人を摩文 その

ちっと働ちゃい 育ていかな」 「三人の生し子の 後盾でむ などの ないないないない 苦労や一時 楽や何時までん」
あわり こりきたらく ひょう にく いく か 動世 願って 「戦争世ん終ち 弥勒世願って 後盾でむる

が)三人の子供たちの後ろ盾だか 争を怨むよ。戦争が終んで、 てしまったが、 ▼戦争のために後ろ盾(夫)を失っ 福はいつまでもと祈る。(私 な世界を願う。苦労は一時、 しっかり働いて育てていか 誰も恨まない戦 平

時刻に追悼ミサを捧げ、 型コロナウイルス感染拡大防止 魂魄の塔での祈りの集会は、 祈り求めます。 が、それに代えて各小教区で同 のため今年も休止となりました 追悼・平和祈念ミサ、平和巡礼、 ている小禄教会での戦争犠牲者 な沖縄慰霊の日です。例年行っ てきました。戦争の犠牲者を追今年も六月二十三日がめぐっ し、世界平和を祈念する特別 平和を

戦争をおこすのは 戦争を許さない努力のできるの 化することはできないはずです 残忍で これほど汚辱にまみれ 条なのです」 ました これが 建設せねば あらゆる戦争を憎み平和な島を も私たち いかなる人でも戦争を肯定し美 0) たものはないと思うのです こ ることのできない きすぎた代償を払って得たゆず 人間です 戦争というものはこれほど なまなましい体験の前では 戦後このかた 私たちは 人間ではないでしょ しかし と思いつづけてき あまりにも大 それ以上に 私たちの信 たしかに

幾重にもこの島を襲っていま ら平和を渇望し、その意思を示 離れ行く現実があります。いく このように高邁な理想とはかけ ▼この沖縄の信条は、 道な歩みは、 確信です。しかし残念ながら、 福音的で人知を超えた普遍的な してもその声をかき消す圧力が それでも決して諦めない地 徹底した非暴力と まことに

縄県平和祈念資料館」の展示室 げられています。 がなくなった摩文仁にある「沖 生き抜き、艱難を過ぎ越したウ の出口に「むすびの 条です。大城カメさんのご主人 チナーンチュの心の声であり信 大城カメさんの詩は、 -和を希求する沖縄の信条 言葉」 戦争を が掲

「沖縄戦の実相にふれるたび

『より大きな』ものは神から来 慮に入れているからです。この 服することはできないことを考 『より大きな』愛、『より大き きな』暴力と『あまりにも大き は、世界の中に『あまりにも大 的なものです。なぜならそれ ように、「イエスの提案は現実 ベネディクト十六世が述べた ります。わたしの前任者である の提案を受け入れることでもあ しています。「ですから、 ます」。さらに次のように強調 なければ、このような状況を克 な』いつくしみをもって対抗し な』不正があること、ですから、 ることは、非暴力というイエス

る心、 隣人愛に貫かれた行 に溢れています。 憎まず、 敵対する者をも思い

だ

うな人は愛と真理という武器の

みによって悪に立ち向かうこと

確信する人の態度です。

このよ

それは神の愛とその力

発言は後押ししています。 和希求の行動は、 真の平和を実現するための あることをフランシスコ教皇の

> リスト教の非暴力とは、悪に屈 章』と考えてよいものです。

わけ「キリスト教の非暴力の『憲

丰

福音(ルカ六・27参照)は、

とり

佇みます。それは、だれをも否だす。 やかに、違く強い竹のように、 の世界平和への歩みの先駆けで エスの教えに合致し、これから 定しない正しさと優しさと勇気 ひたすら不屈の強い意志でしな こうしたウチナーンチュの 過激に暴力的に訴えず 私たちの主イ

> です」。敵を愛するよう求める は『キリスト教の革命』の核心

を恐れないからです。

敵への愛

非暴力 《今、イエスの真の弟子であ

界平和の日」教皇メッセージ「非

こうして不正の鎖を断ち切るこ す(ローマ十二・17~21参照)。 善をもって悪に対抗することで することではなく、……むしろ、

とができます。」》(第五十

回

を張って生きよう!わたしたち 暴力、平和を実現するための政 さあ、 ウチナーンチュよ!胸

にも襲って来ても、 抑圧や暴力、威圧や脅迫が幾重 の歩みこそは平和実現の始まり 後から平和への道のりを平和 理想主義では決してありま かに、かろやかに、 よる平和実現を決して諦めるこ そのものです。不平等や不正、 に歩んできました。その非暴 ん。わたしたちはすでに終戦 の歩みは、実現不可能な誤った いながら、喜びをもってしなや した平等と公正、優しさと愛に 両手をかざして舞い 神がさし 私達らしく 力 裏

Befriending Jesus (John 15:14-15)

Call to friendship

The invitation by Jesus to remain in his love is the point of reference in our relationship with one another. "As the Father has loved me, so have I loved you, abide in my love." (John 15:9) We are called into a particular relationship with God. A relationship that expresses genuine love, the foundation of our care to one another.

St. Paul in his letter to the Corinthians, "If I speak in human and angelic tongues, but do not have love, I am a resounding gong or a clashing cymbal, if I have all faith so as to move mountains, but do not have love, I am nothing, If I give anything I own, but do not have love, I am nothing. 1Cor. 13-14).

This loving relationship with Jesus is a call to authentic friendship. "There is no greater love than to lay down one's life for a friend." (Jn. 15:13). Indeed, Jesus had shown to us his greatest sacrifice. Our friendship with Jesus was sealed in the cross. Truly, when we do things in the name of Jesus, the task we perform is no longer burdensome nor an obstacle to conquer but of service, an act that will inspire people to embrace God. It will allow us to see the bigger picture and purpose of our sacrifice. Definitely, It will turn tears into joy. Our service to our brothers and sisters will now become an act of Charity. "This is my commandment that you love one another as I have loved you." (John 15:12).

Commitment to God's commandment

Such call to friendship with Jesus implies commitment on our part and that is to keep His commandment. "You are my friends if you do what I commanded you. No longer call you servants, for a servant does not understand what his master is doing. But I have called you friends because everything I have learned from my Father I have made known to you (John 15:14-15). We are no longer called a stranger nor a servant but we are his friend. We belong to his company. An identity that transcends individuality. It is inclusive. It breaks down the walls of exclusivism. It is a call to communion with Jesus, to be part of Jesus' circle of friends-community.

Disclosure of Divine Life

Jesus allows us to experience the life of being with God. Our relationship with him brings us closer to the Father, a compassionate God. The story of the prodigal son (Luke 15:11-32) gave us an understanding on the power of forgiveness. The immeasurable love of the Father has been disclosed. We are so privilege to have the opportunity of knowing the path that will unite us to God.

Friendship in depth

This relationship with Jesus is indeed a gift. We have to share the grandeur of such bonding. By our example, we become a living testimony of God's presence. Our gesture of kindness will certainly offers benevolence to one another. Through forgiveness, we diffuse the boiling hatred, bitterness and enmity to each other. Indeed, our friendship with Jesus offers life and direction that ultimately brings an inner peace and happiness to our lives.

Fr. Ricardo C. Bugas Jr. MSP Parish priest - Catholic Yomitan Church

光

明

スはパンを取り、賛美の祈りを

それを裂き、

弟子たち

同が食事をしているとき、イ

藤澤幾義 神父

宮古平良教会 主任司祭

> が赦されるよう さい。これは罪 の杯から飲みな われた。〈皆、こ れらに渡して言 祈りを唱え、か

に、多くの人の

わたしの血、

後、三位一体の主日を祝い、続い てキリストのご聖体の祭日を祝 ます。今年は六月六日がキリス き聖霊降臨祭を荘厳に祝った 教会はその誕生の日とも いう

の奇跡を行われたのです。 ために食べ物が必要であるよう を通して、人間にとって生きる でには、パンの増加の奇跡など 餐で、ご聖体の秘跡を制定なさ 26~8)。このように、最後の晩 約の血である〉」(マタイ二十六・ を示されるために、パンの増加 いました。このご聖体の制定ま に、霊的な糧が必要であること

言っておく。人の子の肉を食べ、 その血を飲まなければ、あなた

・の聖体の祭日です。「はっきり

にちの内に命はない」(ヨハネ六・

)と仰せられたイエス様は、弟 たちとの最後の晩餐の席上で、

したいと思います。 章の男五千人に食べ物を与えた パンの増加の奇跡につい 今日はヨハネによる福音書六 て黙想

考えをお持ちだったのです。続 すように、イエス様のお心には で何をしようとしているか知っ を試みるためであって、ご自分 られます。これは、「フィリッポ こでパンを買えばよいだろうか」 の人たちに食べさせるには、ど るのを見て、フィリッポに、「こ こに大麦のパン五つと魚二匹と 口の兄弟アンデレが登場して「こ いて弟子のひとりシモン・ペト すでに人々を喜ばせようとのお ておられたのである」とありま (ヨハネ六・5) と問いかけてお 大勢の群衆がご自分の方に来

を取り、

である〉

ま た 杯 感謝の

れはわたしに体 食べなさい。こ われた。〈取って に与えながら言

とでしょう。そこには男 ますが、こんなに大勢で ます。」とイエスに言い を持っている少年が 五つのパンと二匹の魚を でしょうと思いながら、 は、何の役にもたたない イエス様にお渡ししたこ 41

のではなかったでしょうか。 まるで、草のじゅうたんが敷か 思われたからです。そこは草が と一万人以上の大群衆がいたと れた野外宴会場に早変わりした いっぱい生えていたとある通り、 五千人、女性、子供を合わせる その少年が持っていた五つの

優しい心はイエス様の心を動か それを差し出した少年の勇気と 果に発展したのではないでしょ パンと二匹の魚は、その子の両親 と自分の弁当だったのでしょう。 多くの人々の心を動

の奇跡を行われたのです。 れたら一万人を超すと思われる ていたわずかな食べ物をもとに 人が満腹するほどのパンの増加 して男五千人、女性、子供を入

ンも魚も味のいい食べ物になっ になっていたとあるように、パ 奇跡がとてもおいしいブドウ酒 うか。カナの婚礼での葡萄酒の 盛り上がったのではないでしょ ガーデンパーテイのようになり、 寄りのご馳走による、さながら れをイエス様が増やして、持ち わずかなものを出しあって、そ ら、ほとんどの人が持っている いわけにはいかないとの思いか 子が出すんだったら、私も出さな わせていたものを差し出すきっ ていたことでしょう。 かけになったのでしょう。「あの なり、それぞれに少しずつ持ち合 心がみんなの心を開く呼び水と その少年が差し出した優し

た食べ物をイエス様の前に差し 出したパンと魚はみんなの心開 ません。つまりその少年の差し みんながお互いに助け合う心が えられていますが、そのような 助けるなど、 の物を持ち寄って、貧しい人を 言行録によりますと、自分たち く役を果たし、そしてそれぞれ 自然と築かれていたのかもしれ し合う精神が進んでいたとも伝 に自分たちが少しずつ持って 初代教会の信者たちは、 福祉の面では協力 使徒

イエス様はその少年の持っ

初 そ

のです。 お定めになる方向づけをされ 54) と言われ、ご聖体の秘跡を りの日に復活させる」(ヨハネ六・ 命を得、わたしはその人を終わ わたしの血を飲む者は、永遠 れたのです。「わたしの肉を食べ、 の糧が必要であることを教えら 食べ物が必要であるように、魂 増加の奇跡を通して、 助になったのかもしれません。 代教会の精神的なパワーとなる の持ち寄りの精神はその後、 えてくださったのでしょう。 て恵みの味で最高のご馳走に変 出し、イエス様のお考えに従 など、その後の教会の発展の イエス様は、このようなパンの

からだに

0

の状態が要求されることは当然 述べているようにふさわしい心 す」(Iコリント十一・27)と、 に対して罪を犯すことになりま 飲んだりする者は、主の体と血 主のパンを食べたり、 ウロが「ふさわしくないまま いことは当然のことです。聖 さわしい状態でなければなら なるのです。そのためには、 の御子が私たちの心においでに るときにご聖体を頂きます。 NO.165 を参照 と言えます。(【カトリックの教え】 私たち信者は、 ミサにあず その杯を ふ 神 で パ な

ス様のご聖体を拝領するように 皆さん良き準備のもとにイエ

2021年5月拡大司祭・助祭会議議事録

開催日時: 2021年5月11日(火) 10: 30~12: 30 開催場所: 教区センター

※会議に先立ち、9時半からウェイン司教の母上様の1周忌のミサが司祭団と共に捧げられた。

1. 報告及び連絡事項: 司会・クレーバー神父。

- ・前回(4月会議)の議事録の確認-新田。
- ・小禄教会主任司祭、カプチン会地区長:マキシム・デソーザ神父の任命書交付式が行われた。
- ・5月22~23日、宮古島平良教会を公式訪問されることが司教から報告された。
- ・マーシーさんから5月~6月にかけての司教スケジュールの確認が行われた。
- ・5月16日(日)、具志川教会訪問、堅信式。
- ·6月13日(日)、泡瀬教会訪問。
- ・6月20日~22日、長崎教区のための Zoomによる黙想会。
- ・6月27日(日)、普天間教会訪問。
- ・沖縄カトリック学園における SDGs(SDGsとは、2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」において採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた、2030年までの国際社会全体の目標である。17のゴール(目標) と169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な範囲に総合的に取り組むこととされている)の実践報告が指導司祭より行われた。
- ・OND修道女会沖縄修道院の移転について藤澤神父より報告が行われた。保良教会の工事も概ね終了し、5月11日からシスター達が新しい場所での生活を始めていることや、司教訪問の際に祝福式を司教にお願いしていること等が報告された。
- ・ 教区所有の建物について、泡瀬や伊江島の修道院あとなど、現在活用されていない建物も、徐々に活用できるよう模索されていることが司教から報告された。
- ・コロナの感染防止対策について、事前に出されている対策や取組みを継続しつつ、気を弛めることなく取組まれることが可祭たちに要請された。
- その他
- ・コロナワクチン接種の申込書は日本語のみで出されているが、参考にできる英語やベトナム語の翻訳があるので、必要ならばマーシーさんから受け取るよう案内がなされた。
- ・バチカンからパンデミックの1日も早い収束を願って、5月中、特にロザリオの祈りを唱えるよう呼びかけが行われていることが報告された。
- ・名護のボスコ神父より、5月9日に行われた名護教会60周年と新聖堂5周年の感謝ミサを、ウェイン司教と押川司教をお招きして開催できたことへの感謝と報告が行われた。

2. 審議事項

- ・6.23について討議され、今年の平和巡礼も休止して、昨年のように同時刻に各小教区で平和祈願ミサを行い、沖縄県民と共に12時の黙祷を捧げて散会する方向で準備されるよう要請された。また、例年県外から送られてくる折鶴や教区女性の会の祈りの折り鶴については、メイン会場の追悼・平和記念ミサ後に平和委員会で魂魄の塔に捧呈する予定であることが報告された。
- ・サマーキャンプについて、担当のヨアキム神父から報告があり、現在の状況では今年も例年のような宿泊キャンプは 開催できないと思われるが、子どもたちのために、日帰りのピクニックという形で何かできないかを、青年会とも一 緒に討議していることが報告された。
- ・司祭、助祭研修会についてウェイン司教から昨年行ったような形で、司祭、助祭のための研修会を望むか否かを問われ、 全員が開催を希望したため、教区として取組むことが報告された。
- ・司教団から環境課題への取組についてのアンケートが送られてきており、司祭たちの意見を聞いたが、特に意見はなかったのでウェイン司教で回答することが報告された。
- ・教会は、誰にでも開かれた場であるためより一層防犯には気をつけ、罪の機会を提供することにならないような対策 が求められていることが指摘され、信徒を守るうえでも主任司祭の責務の自覚が司教から促された。
- ・2020年の会計報告と小教区現勢調査報告について、まだ理解不足の小教区が見受けられるで、時機を見て研修会等を開催して、周知できるようにしたい意向であることが事務局長より報告された。
- ・具志川教会主任のサニー神父から、司教公式訪問で予定されている小教区での取り組みについて報告が行われた。
- ・開南教会の古川神父より、教会の状況について報告があり、有馬神父が週2回元気にデイサービスに通っておられる ことや、具志頭の巡回教会の建物の補修とペンキの塗り替え工事を行っていることが報告された。
- ・次回司祭助祭拡大会議は2021年6月1日(火)午前10時から12時、安里教区センターで開催されることが報告された。

2021年5月27日 承認: ウェイン・フランシス・バーント司教 記録: 新田 選

はり神様が中心に居ます。 ると思いますが、実際は結構い 信仰心の厚い信者の様に思われ あるのは神様だと思っていま なく、良い時も嬉しい時もや います。悪い状態の時だけで 私の中心にあるのは神様だと る時、苦しい時、 頼みではないのですが、やは 中でも何かあった時、悩んで 加減な人間です。しかし、そ その様に言うと、 困った時の

うに感じていました。 どもの頃は神父様の説教の間 連れて行かれました。それが良 かったのだと思います。ただ子 います。 に屈な時間を過ごしていたと思 配の信者さんが祈る姿を見 私はいわゆる幼児洗礼です 何か不思議で遠い存在のよ 小さい頃毎日曜日に教会へ その時は子ども心に、

子どもの頃に見た信者さんと大 日行っていますし、教会の仕事 ようになり、今ではほぼ毎日曜 んを見る目や思いが変わってき なって神父様を見る目、 **八になって見る信者さんに、何** 違和感があります。 少し手伝っています。しかし、 時期教会を離れていました いつの頃からか教会に行く 大人に

私の物事及び考え方の中心に るのは、当たり前のことですが、 捉えられる方、色々です。それ られます。 ルもあったり、 で信者さん同士の問題やトラブ とを強く感じます。人間ですの 神様であり信仰心です。そのこ でも皆さんに共通して感じられ の厚い方、結構現実的に物事を 色々な方がおられます。 たのかもしれませ 口に信者さんと言っても、 様々に考えさせ 信仰心

も分かっておられることだと思 もしれません。多くの信者さん 苦労もなければ、その人の人生 あるから喜びも大きい。 りの心などです。 実感するのかなとも思います。 は無味乾燥したものになるのか た霊的なことを分ち合いたいと います。特に年を重ねてくると ここで二十年ほど前に体験し 他人に対する寛容さや思いや また、 苦労が

思います。 仕事の帰りに知人と

とが、いかに大切であり、 脇に置いて、 であるかということです。 験があったのかと考えた時、 困っている人を助けるというこ 言ったことだと思いました。 ている人たちを助けたい、 た、後々は社会貢献して、 れは間違いなく知人に宣言し が難しいので、その話しは一旦 なりに思うことは、 何故あのような体 社会貢献や 重要 困っ

私 ع

ておられるのではないかという

れて、私たちの話すことを聞い 神様は結構私たちの近くにおら

そしてもう一つ思うことは、

りです。また、霊的な体験があっ 悪い方だと思います。 ます。その様な経験の中で、 今現在も社会貢献等をやってい て以来、私のできる範囲内で、 行いに十分注意をしているつも 私は仕事の中でも外でも口は 人間ですから失敗もあり しかし今は話す言葉や 自覚して

仰心があれば必ずしも毎日曜日 り取りの中で、毎日曜日教会に う訳ではない。肝心なのは信仰 来て御ミサに与かれば良いとい 会は重要だと思います。 心だと。確かにその通りだ、 ある時、他の信者さんとの遺

言葉で説明するの ました。 ないかと思い、 教会に行かなくても良いのでは 休みがちになり

ありました。

御ミサは大切にすべきものと確 は説明し辛い所がありますが のです。 かるのと与からないのでは違う 厚くても弱くても、御ミサに与 信するようになりました。 しかし違うのです。 何が違うのかは言葉で 信仰心が

です。その中で何が出来、 が、心から感謝してもいます。 思います。信徒だけではなく神 できないか? ために来て、一生を捧げて老 父様もそうです。 沖縄に布教の く他の教会もそうではないかと 高齢者がほとんどです。 て行く訳です。寂しい限りです 今は私の年代が一応先輩信徒 今、私が所属している教会は おそら

なと思います。 きる範囲で、嫌いな人であって 無理はしなくて良いと思い も少しずつ優しくできたら良 います。長くは続きませんから、 出来ることをすれば良 神様を心に留め、 、自分ので

になってください。 しまいましたが、近くに来られ た折には、 取りとめのない文章になって 小禄教会へもお寄り

たて軸よこ 教会(神様)と信徒と私 軸

小禄教会 玉 寄 寿

ないか」と書いてありました。 労の中に学ぶことが多いのでは から学ぶことよりも、 何かの本で読んだのですが、「楽 いに決まっています。 います。苦労はしたくありませ くなっているのではないかと思 恵まれている中で、 は手に入ります。私を含めて、 本は恵まれていると思います。 んし、苦労よりも楽な人生が良 お金さえあれば、 しは変わりますが、 ほとんどの物 信仰心が弱 多くは苦 しかし、 今の日

ちの為に働くといったようなこ の中で彼に、私の話は仕事のこ 宅に帰って間もなくのことでし 会貢献をして、困っている人た 訳ではないのですが、後々は社 とばかりでお金が全てと言って とを彼に話しました。その後自 いるように聞こえると言われ いなかったのですが、色々な話 私は体調不良でお酒は飲んで 直困りました。そこで、 みに出かけた時のことです。 不思議な、 霊的な体験が 言い

キリストとの 着任の挨拶に代えて! マキシム・デソーザ神父



出会いというのは不思議なも

うのは、意味があるというわけ こに、本当の出会いがあるとい のではないでしょうか。 上げたように楽しいことがあっ いというのは、どんなに今申し んできた。人格的な出会いがな べられたし、結構いろいろ楽し できたし、おいしい食べ物も食 そこそこ儲けたし、いい生活も ても本当に良かったのだけれど のであります。良い出会いがあ ば、どんなに辛いことがあっ 逆に楽しかったし、 苦しいことがあった。そ 逆に空しくなってしまう つらい お金も

自分中心、自分のことしか考え らない、むなしい人生、あるいは、 本当にいい出会いがあった人 充実した人生を歩んでいま 本当の出会いがないという 今言ったとおりに、つま

出会いの中で、

何かその人か

しょう。

ます。出会うのはいいですけど、 り豊かなものであり、また深まっ くて、出会いというのは、やは います。これは過去の話ではな 四十年前にイエス様に出会って との出会いはどうでしょうか。 ありますが、イエス・キリスト いうものが生まれてくることは ら得ること、その人の為にこう ていくということはあると思い 私はイエス様を信じています。

出会うこととその出会いを深 さびしいですよ。出会いが深まっ ませんでは、相手の方は、 て。それ以上知りたくもござい お名前と職業と顔、そこで止まっ まったことになっていくことが ていくということが大切ですね。 つまらないということですね。 毎日出会ったとしても、 むしろ 仮に

ると思います。 ともないことはないのです。 にいることは親しく感じないこ ととは限らないです。逆に近く ので物理的に一緒の空間にいる 大事にしている等々わかるで から出会ってよかったというこ んできた人生がはっきりわか 出会いの中にその人の価値観 出会いというのは不思議なも こういうことを

> 出会った。この箇所からこのキ そちらにシメオンとアンナと呼 とって大切なものであります。 いと思います。 リストとの出会いを考えてみた んでわかるようにこのお二方が にお捧げする場面がありまして、 の親が神殿に連れて行って神様 た。このお二方がイエス様に 、力の福音書二章にはイエス様 会いというのは私たちに

会いでした… (一) 神様に導かれた不思議な出

神様が出会わせてくださってい 間に入る人がいますね。教えて 思議な出会いです。そのときに るとすればその縁というのはま 縁という言い方します。縁があ ると思いますね。 たちの人生にとって大切な人を の人のおかげで教会に来た。私 くれた人、導いてくれた人とこ いうのは神様による出会い、不 めに生きていたから良いご縁 私たちもイエス様に出会うと 世の中ではご

でしょう。たくさんの人々がキ

を大切にしていた。そして救い

様が造ってくれたと思います。 考え方なのですが、最終的に神 があったとか、それは世の中の イエス間は赤ちゃんとして神

たらそういう出会いがなかった しました。もし時間ずらしてい メオンとアンナが救い主を発見 何も印がなかったのですが、シ 殿に訪れたときに救い主として

> ぐらい。シメオンは神様の導き ば歩むほど思うのであります。 です。私たちも信仰生活を歩め 様がいるように気がつかないの で奇跡起こしたときにもイエス 様の場合に五つのパンと二匹魚 も通り過ぎたでしょう。 わけですね。大人になってから リストに通り過ぎていってい イエス様に出会った人と同じ イエス

たと思いました。 救い主に出会わなければ死なな うのは自分の人生の最大なこと、 を思っていた。イエス様に出会 主に出会うまでは死ぬことはな い、出会ったときに本当に良かっ い。救い主を会う前にそのこと

平安と罪を許され、去らせてく 葉通り、この僕を安らかに去ら ださいといえたでしょう。 せてくださいます。神様からの 主よ、今こそあなたは、 お言

(二) 救い主への出会い…

架の救いを見たのです。 きているうちにキリストの十字 スラエルの誉れです。」自分が生 照らす啓示の光、あなたの民イ てくださった救いで、異邦人を です。これは万民のために整え の目であなたの救いを見たから ます。ルカ二・30節には「私はこ に出会ったとはっきり言ってい けではなくそれが自分の救い主 特別な赤ちゃんに出会ったわ

> いがあらわにされます。」 れます―多くの人の心にある思 あなた自身も剣で心を刺し貫か を得られるということを信じて この方に出会うというのは救い するためにと定められ、また、 を倒したり、立ち上がらせたり この子はイスラエルの多くの人 マリアに言った「ご覧ください。 いたのです。シメオンは母親の どういう方かわかってい

とですよね。 生に原点になっているというこ した。キリストはシメオンの人 オンにとって一番大事なことで キリストを信じることはシメ

ついたわけです。 経験あったとしてもキリストに いことかと人生の終わりに気が 出会うことはどんなにすばらし 生の終わりにいていろいろ人生 メオンとアンナこの人たちは人 す。ザカリアとエリザベト、シ ていかなかったとしたら損失で キリストとの出会いが深まっ

会えるように祈りましょう。 だけではなく、彼らの現実も変 いを遅らせないですぐにでも とですね。 の現実も変わっていくというこ ストに出会うというのは私たち わっていったと思います。キリ 罪を許していただいて、ただ心 キリストに出会ってよかった、 そう言う人との出会

(小禄教会主任司祭)

れました。

感謝ミサが行われました創立六十周年・献堂五周年記念

名護教会

あったことに、 まの豊かな祝福に包まれていたからで ミサが滞りなく終えられたことは、神さ となりました。このコロナ禍の中で、ご 行われましたが、 待ちにしていた記念感謝ミサは、ウェイ いう声も上がり、喜びにあふれたごミサ 行われました。大雨と雷鳴の中、ミサが 来賓にお迎えして、感謝のうちに無事に フィアト修道院院長シスターテレジアを ン司教様の司式のもと、 去る五月九日(日)、一年延期され、 心から感謝をささげまし 天からの祝福のようと 押川司教様と 心

復活のキリスト

から贈っていただいたロザリオと、教会 会とご縁のあった長野県在住の信徒の方 祝賀会はできませんでしたが、名護教

教様に祝別していただき、 からの紅白かるかん饅 る海の星の聖母のご絵を司 名護教会がささげられてい 人一人に記念として贈ら

うございました。 とお礼を申し上げます。 任司祭をはじめ、信徒一同、心から感謝 え、 いたします。また、皆様のお祈りに、主 て素晴らしいミサになったことをご報告 たことはとても残念でしたが、あらため コロナウイルス感染予防のためとは 那覇教区の皆様をご招待できなかっ 本当にありがと (寺田道明)

年記念ウエイン司教様公式訪問カトリック具志川教会三十五周 具志川教会

れてきました。 川教会は那覇教区の多くの皆様から愛さ 立され巡回教会としてスタートした具志 月十八日、バレンタイン神父様により設 三十五周年を迎えました。一九八六年五 |教会では去る五月十六日(日) 献堂

会一同、

心より感謝申し上げます。

えてくださっているみなさ様に具志川教 様そしていつも変わらず具志川教会を支

堅信式、 の日、 ミカエル東恩納渉君十四歳、ナタニエル・ よる記念感謝ミサが捧げられました。こ 変わりした教会堂で、ウエイン司教様に の皆さんの忠実な奉仕によって綺麗に様 ボランティア(ナイト・オブ・コロンボス) アンドル・ドロリゲェズさん二十六歳 具志川教会信徒の皆さんはじめ外国人 主の昇天祭において司教様による 初聖体式も行われ堅信二名は、

ヨハネ

伊 佐

勝治

新垣助祭、 歳でした。この喜びに満たされた三名に、 スター方から大きな恵みと祝福が送られ 初聖体はレイモンド・ユタ・城間君十二 遠方から来られた神父様、

ました。 た。 い出深い素晴らしい記念ミサになりまし いお声が一人ひとりの心にこだまし、思 この日は好天に恵まれ、 この日のためににご寄付を下さった皆 司教様の優し



(安次嶺裕

洗礼おめでとう 名護教会 二〇二一年五月二十三日 ございます

コザ教会 二〇二一年五月二十三日 無原罪のマリア 伊佐美津江 譜久山 エラスミレ

第3回目の国の緊急事態宣言を受けて、 ウェイン司教様から各小教区宛通達が出されています。

これまで公開ミサ等の霊的奉仕を継続しながらも、教区内の諸施設における感染例がなかったことは、 とえに皆さんの努力と協力の結果だと感謝いたしております。しかしながら各小教区におけるこれまでの 感染防止措置では、より感染力を強化した変異株の拡がりを考慮すると、不十分な点もあるかと思います。 -度それぞれの小教区におけるこれまでの取組を再点検し、改善箇所を洗い出し、更新しながら祈りのう ちにキリスト者としての使命を果たしてゆきましょう。感染を恐れるあまり、感染者や濃厚接触者に対する 言動に排除や差別が起こりがちです。感染によって身体的にも精神的にも大きな苦しみを受け、 最も思いや りを必要とする弱い立場に立たされた方への配慮を決して欠くことのないよう、今後もこれまで以上に感染 防止策を徹底するよう改めてお願いいたします。小教区に貼られた通達や教区ホームページ等で詳細をご確 認ください。

那覇教区の兄弟姉妹の皆様

2021年 6・23 慰霊の日のお知らせ

主の平和

例年行っている平和巡礼、小禄教会でのミサ、魂魄の塔での祈りの集会は、昨年に続き今年も休止します。それ に代えて教区内慰霊の日の行事として下記の通り計画しましたので、ご理解とご協力をお願いします。

記

1. 場 所:主会場を安里教会聖堂とし、各小教区聖堂にて分散開催

2. 日 時: 2021年6月23日 午前11時より同時開式

3. 意 向:終戦 76 周年にあたり全ての戦争犠牲者の慰霊および平和希求ミサを心ひとつに捧げる。

4. 司 式:主会場はウェイン司教、各会場は主任司祭

5. 参加者:・主会場は安里教会信徒や修道者

・各小教区ではその所属信徒や修道者

6. 黙 祷:全県民の黙祷に合わせて12時に黙祷を捧げる。

7. 女性部企画の「祈りの千羽鶴」は安里教会に集めてください。(慰霊の日のミサ後、平和委員会が魂魄の塔まで届けます)

注 意:感染症対策として教区外からの参加をご遠慮いただき、これまで各小教区で取り組んできた感染拡大防止

策を駆使し、三密を避け、安心安全な慰霊行事とする。

カトリック那覇教区長・カトリック那覇教区平和委員長:ウェイン・バーント司教

名護教会 ミカエル 計 フランシスカ フエンテス テイドロウ サラオソス |〇二||年五月十五日帰天 カ |〇二||年五月||日帰天 マグダレナ 松堂 年五月十八日帰天 年五月四日帰天 年五月二十二日帰天 年五月二日帰天 小川 屷 笑子 光子 洋 享年一〇二 享年一〇五歳 享年 0 歳



NPO 法人ぶどう園の会

訪問看護ステーション

TEL&FAX:098-937-5001 住所 沖縄市泡瀬2丁目37-15

・基本受付 月曜日~金曜日(申込、相談など)

·営業時間 8:30~17:30

·営業日 24時間365日(緊急対応含む)



私たちは故人とご遺族の意向 を最優先に考えます。何でもご 相談下さい。

那覇市首里鳥掘町4-57-3 TEL&FAX:098-885-8205 http://w1.nirai.ne.jp/yasurai E-mail: vasurai@nirai.ne.jp

~ご遺族の心をもって奉仕する~ そうてんしゃ

- *創業30数余年···。
- *皆様に支えられ「感謝」とともに人生を閉じるための お手伝いをさせていただいております。
- *ご質問、ご相談、24時間、いつでもお電話下さい。 「ゆうなの会」会員募集中です。

(実務担当) 比嘉 高茂



2098-853-1059